



# 1 | 推進・進捗管理

## (1) 推進体制

基本計画に位置付けた施策・事業について、関係各課が主体となって施策を推進します。  
 デジタル技術も活用しながら市民への満足度調査や安芸高田市総合計画審議会(年1回)の意見を踏まえ評価・検証を行い、必要に応じて、基本計画を改定するPDCAサイクルを実施します。  
 第3次総合戦略の推進にあたっては、地域振興組織や関係団体等、地域に根ざした既存組織が主体となり、それぞれの基本目標に対応する取組を通じて、実行と改善を重ねる小さなPDCAサイクルを展開していきます。これらの活動を政策企画課が事務局としてサポートし、全体の進捗や成果を安芸高田市総合計画審議会にて共有します。安芸高田市総合計画審議会では、市民・団体の代表等の多様な視点から施策・事業の妥当性を確認し、必要な改善提案を行うことで、大きなPDCAサイクルを機能させていきます。その上で、最終的な意思決定や方向性の確認については、市長への答申を通じて、第3次安芸高田市総合計画基本計画との整合を図ります。

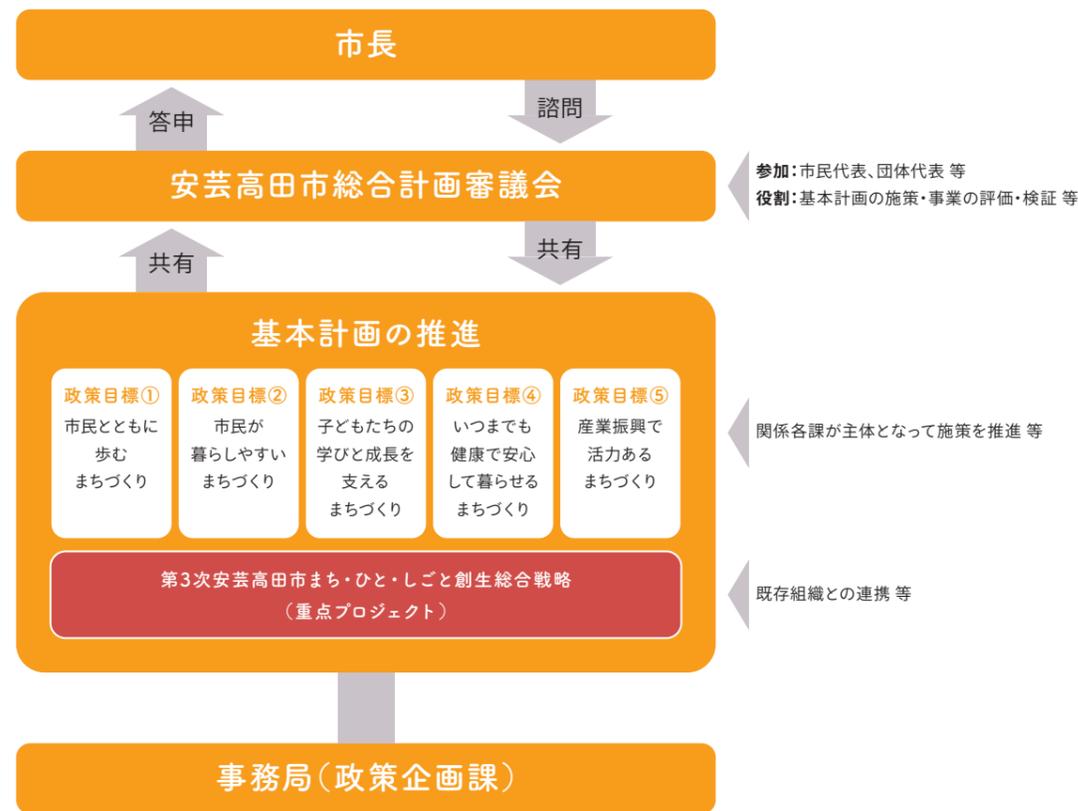


図1 第3次安芸高田市総合計画における推進体制

## (2) スケジュール

基本計画のスケジュールは以下のとおりです。第2次総合戦略は2025年度まで計画期間を延伸していることから、2026年度より第3次総合戦略を開始します。なお、第3次安芸高田市総合計画基本計画の計画期間が4年間であることに鑑み、両計画の整合を図るため、第3次総合戦略の計画期間は2028年度までの3年間とします。

基本計画に位置づける施策・事業については、進捗・効果の検証を行い、必要に応じて政策判断を行うため、毎年度評価を行います。

表1 基本計画におけるスケジュール

|              | 2025年度   | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 |
|--------------|--|--------|--------|--------|
| 基本計画に位置付ける施策 | 施策・事業の立ち上げ、推進  |        |        |        |
| 基本計画の評価      | 年に1度、基本計画に位置付ける施策・事業の進捗・効果を検証し、継続・縮小・見直し・廃止等の政策判断を実施 |        |        |        |
| 次期基本計画の検討    |  |        |        | 検討開始   |

## (3) 進捗管理

基本計画の推進にあたっては、施策・事業の実施状況や目標指標の達成状況の検証・評価を行う「大きなPDCAサイクル」と、個別の事業に素早く対応する「小さなPDCAサイクル」を組み合わせることで、戦略の達成に向けた継続的な改善を推進します。

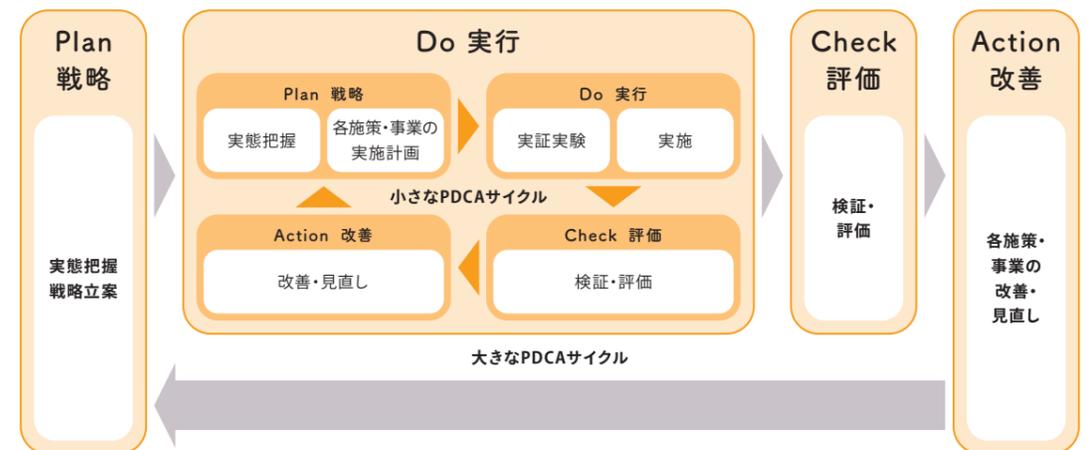


図2 基本計画におけるスケジュール